

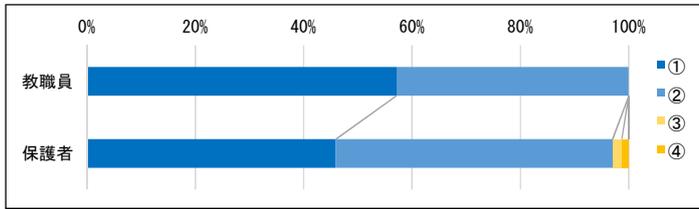
令和3年度 我孫子市立湖北台東小学校 学校評価分析

全体傾向と課題

各項目別の分析（各評価の割合は小数点以下四捨五入で処理をしているため、合計が99%にならないものがありますご了承下さい。）

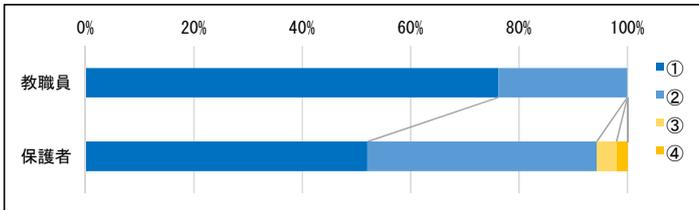
① ② ③ ④
 あてはま 概ねあて あまりあ あてはま
 る はまる てはまら らない

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
1	教職員	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.57	3.32	3.42	57%	43%	0%	0%
	保護者	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.42	3.31	3.34	46%	51%	2%	1%



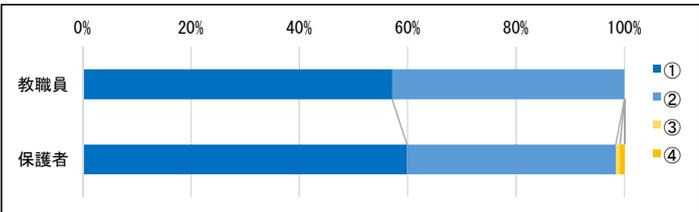
保護者の平均評価は0.11ポイント向上した。感染症予防を心掛けながら教育活動を進めたことが評価されたと考える。教職員の平均評価は0.29ポイント向上した。前年度の経験を活かし、行事等を工夫しながら実施できたためだと思われる。今後も保護者・教職員の評価が共に向上するよう、学校教育目標達成のために全力を注いでいきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
2	教職員	学校は、教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.76	3.27	3.38	76%	24%	0%	0%
	保護者	学校は、日頃の教育活動を保護者・地域に知らせている。	3.44	3.26	3.34	52%	42%	4%	2%



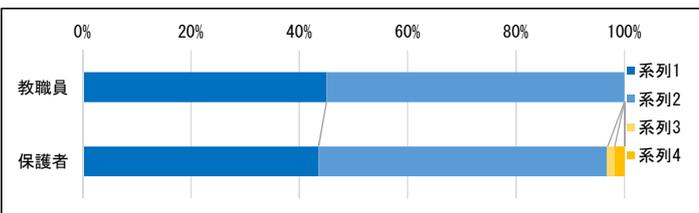
本年度、感染症予防対策に努めながら、可能な限り学習参観や運動会など工夫して実施した。直接参観できない保護者のため、学校だよりや学年だより、ホームページで学校の教育活動の様子を理解頂けるよう心掛けた。今年度保護者の平均評価は、0.18ポイント向上した。今後は更に具体的な子どもの活動をより多く発信するように努めていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
3	教職員	学校は、来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.57	3.54	3.65	57%	43%	0%	0%
	保護者	学校は、来校者した保護者に対し丁寧に対応している。	3.57	3.44	3.48	60%	39%	1%	1%



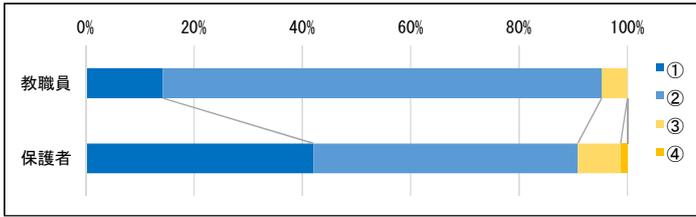
保護者の平均評価が昨年度と比べ、0.13ポイント向上した。職員全体が丁寧に対応するよう心掛けた結果と考える。職員の平均評価も0.07ポイント向上した。職員の保護者対応への意識が向上していることがうかがえる。今後も教職員の挨拶や返答、服装等について常に見直すとともに、保護者や来校者に対して、教職員一同誠意を持ってより丁寧な対応を心掛けていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
4	教職員	学校は、熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.45	3.42	3.52	45%	55%	0%	0%
	保護者	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	3.39	3.33	3.34	44%	53%	1%	2%



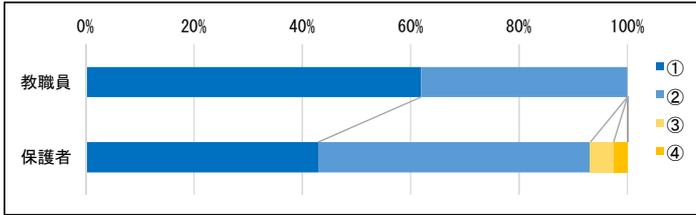
教職員の平均評価は昨年度よりも0.02ポイント上がっており、昨年度と同様の値といえる。保護者の評価は0.06ポイント上がっている。本年度は全児童にタブレットが導入されたことを受け、効果的なタブレット学習を研究のテーマとし、タブレットを授業や家庭学習で活用できるように努めた。保護者の数値が向上したことは、学習での児童の充実が家庭に届いたものと考えられる。児童が「わかって楽しい」と思える授業ができるように今後も更なる校内研修の充実を努めていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
5	教職員	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.10	2.88	3.24	14%	81%	5%	0%
	保護者	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.32	3.28	3.43	42%	49%	8%	1%



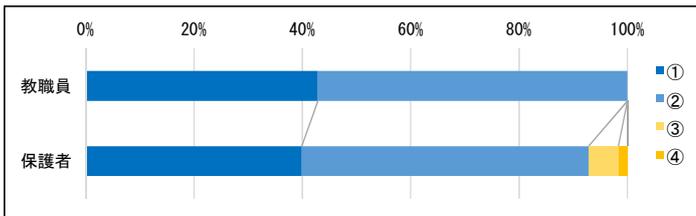
昨年度でできなくなった体験的学習があったため、今年度は内容を工夫し、できる限り実施できるように努めた。その結果、教職員の平均評価は0.28ポイント、保護者の平均評価は0.04ポイント向上した。今後も、社会の状況に合わせて、体験的な活動のよさを生かした子ども達の「生きる力」の育成を目指していきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
6	教職員	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.62	3.33	3.35	62%	38%	0%	0%
	保護者	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.33	3.23	3.27	43%	50%	4%	3%



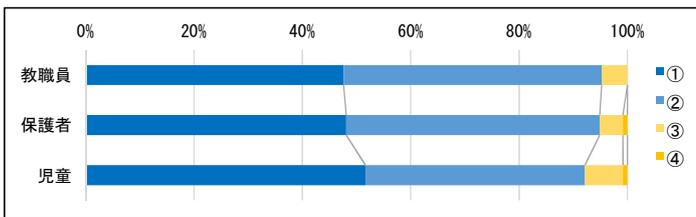
昨年と比べて教職員の平均評価が0.39ポイントと大きく向上している。また、保護者の平均評価も0.1ポイント向上した。広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していくことは難しい状況でもあるが、児童も職員も熱心に清掃活動に取り組んだ成果であると思われる。今後も、清掃活動を進んで行う態度とともに、清掃活動に加えて学校をきれいに大切に使う児童の姿勢を育てていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
7	教職員	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.43	3.26	3.42	43%	57%	0%	0%
	保護者	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.31	3.27	3.28	40%	53%	5%	2%



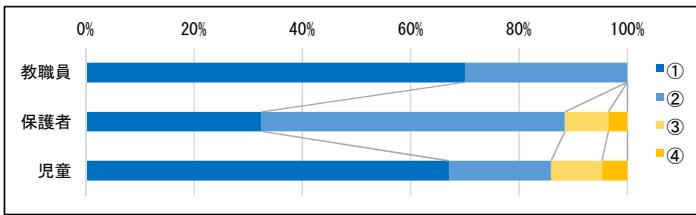
教職員の平均評価が0.24ポイント向上し、保護者の平均評価も0.04ポイント向上している。感染症予防対策を含めての防災・安全指導に理解がいただけた結果と思われる。本年度、計画的に防災訓練、ミニ避難訓練等を行ってきた。今後も防災研修を実施しながら、防災指導・安全指導についてしっかりと取り組んでいきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
8	教職員	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.43	3.26	3.62	48%	48%	5%	0%
	保護者	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.42	3.29	3.40	48%	47%	4%	1%
	児童	挨拶・返事・くつの整理整頓を頑張っている。	3.43	3.49	3.35	52%	40%	7%	1%



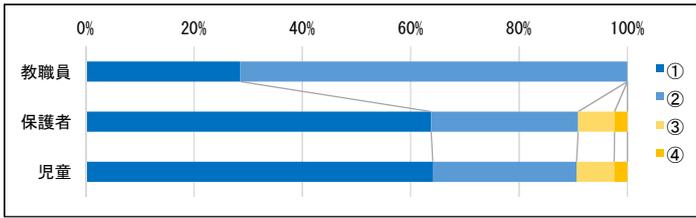
生活委員会を中心に全校で「あいさつ運動」に取り組んできた。教職員の平均評価が0.18ポイント、保護者の平均評価が0.13ポイント向上した。一方で児童の平均評価が0.06ポイント下がっている。折に触れ、あいさつすることの大切さを伝え、気持ちのよいあいさつができるように指導を重ねてきたが、まだ受け身の児童もいるためと思われる。今後もあいさつや返事、靴の整理について、各学級で取り組み、児童の意識を向上させていき、実践できる子を育てていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
9	教職員	学校は、いじめなど個々に問題を抱える児童に対し必要な支援を行っている。	3.70	3.44	3.64	70%	30%	0%	0%
	保護者	学校は、いじめなど、個々に問題を抱える児童に対し支援を行っている。	3.18	3.11	3.24	33%	56%	8%	4%
	児童	いじめられたり、困ったときに先生と一緒に考えてくれる。	3.48	3.60	3.66	67%	19%	9%	5%



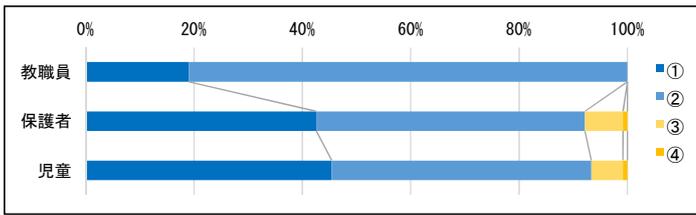
今年度、いじめアンケートや学校生活アンケート、個人面談などを実施した。さらに、3年生以上の児童についてはQ-U検査を実施した。支援を必要とする児童には、校内委員会を開き、様々な立場の職員の考えを生かして対応を考えてきた。教職員の平均評価は0.28ポイントと大きく向上し、保護者の平均評価も0.07ポイント向上している。逆に児童の平均評価は0.12ポイント下がっている。児童の平均評価が下がったことを重く受け止め、児童の心に寄り添う支援が行えるようにし、今後の指導の見直しにつなげていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
10	教職員	児童は、学校に楽しく登校している。	3.29	3.37	3.35	29%	71%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.52	3.51	3.59	64%	27%	7%	2%
	児童	学校に楽しく登校している。	3.52	3.56	3.53	64%	27%	7%	2%



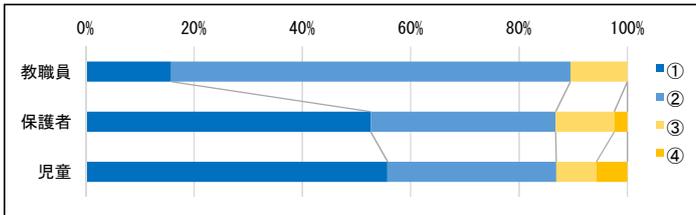
教職員は0.09ポイント、保護者は0.01ポイント、児童は0.04ポイントと全ての平均評価が下がっている。多くの児童が楽しく学校に登校できていることを嬉しく思うが、評価「3」「4」を合わせて、9%の児童が「楽しい」といえない状況であることを重く受け止め、「わかる授業」「居心地の良い学級づくり」「児童が主体となって取り組める学校行事」等の充実を目指し、指導を振り返る機会を設定して改善につなげたい。そして、どの児童も楽しく登校できる学校づくりを今後も推進していきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
11	教職員	児童は、熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.19	3.31	3.00	19%	81%	0%	0%
	保護者	お子さんは、熱心に授業に取り組んでいる。	3.34	3.25	3.44	43%	50%	7%	1%
	児童	熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.38	3.53	3.43	45%	48%	6%	1%



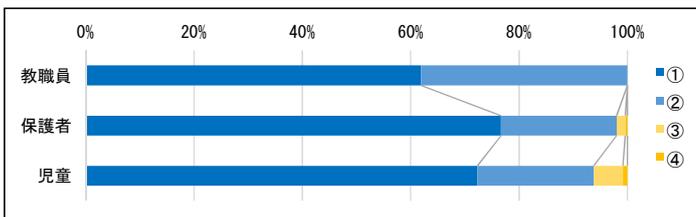
保護者の平均評価が0.09ポイント向上した。教職員の平均評価は0.14ポイント下がったが、評価「1」「2」で100%の肯定的評価になっており、熱心に授業研究に取り組んでいることがうかがえる。しかし、児童の平均評価が0.15ポイント下がっていることからより一層の授業改善により「わかる授業づくり」「子ども達のやる気を引き出す授業づくり」に励んでいきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
12	教職員	児童は、宿題や自主学習等の家庭学習を行っている。	3.05	3.17	3.08	16%	74%	11%	0%
	保護者	お子さんは、宿題や自主学習を家でやっている。	3.37	3.31	3.38	53%	34%	11%	2%
	児童	宿題や自主学習など家庭学習を行っている。	3.37	3.54	3.59	56%	31%	7%	6%



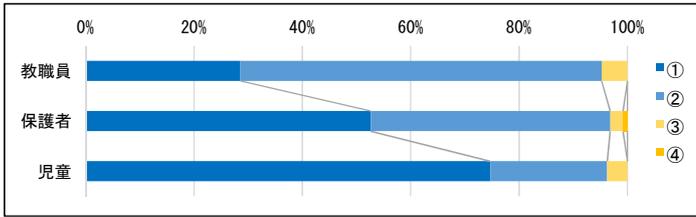
教職員の平均評価が0.05ポイント、児童の平均評価が0.17ポイント下がっている。保護者の平均評価は0.06ポイント向上しているものの、項目「3」「4」を合わせると13%であることから宿題や家庭学習の取り組みに課題があるといえる。タブレットを活用したり、学習内容を工夫したりしながら継続的に取り組んでいかなければならない。家庭学習は、学校と家庭とが連携していかなくては十分な成果は得られないので、今後も家庭の協力を得ながら進めていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
13	教職員	児童は、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.62	3.54	3.68	62%	38%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.74	3.67	3.64	77%	21%	2%	0%
	児童	学校行事に楽しく参加している。	3.65	3.64	3.66	72%	21%	5%	1%



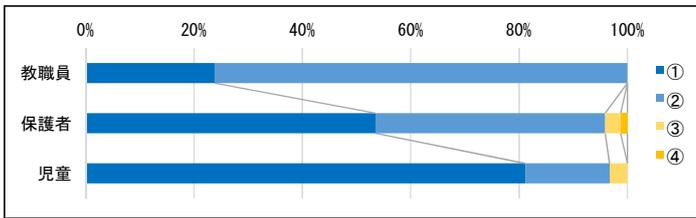
教職員・保護者・児童すべての平均評価が向上した。感染予防をしながら取り組み方や内容を工夫し、満足できる行事ができたためと思われる。本校では学校行事において一人一人に役割を与え、責任をもってやり遂げることで成就感や感動を味わうことができるようにしている。児童は各行事に対して真剣に取り組む、事故の成長を実感できていたと思われる。そして、児童の成長した姿が保護者に伝わったのだと思われる。

No.	項目	R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
14	教職員	児童は、社会や学校のルールを守って生活している。	3.24	3.26	3.31	29%	67%	5%	0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.49	3.45	3.48	53%	44%	2%	1%
	児童	社会や学校のルールを守って生活している。	3.71	3.67	3.60	75%	22%	4%	0%



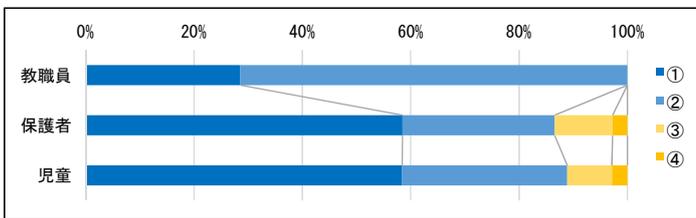
昨年度と比べて、保護者と児童の平均評価は向上したが、教職員の平均評価は0.04ポイント下がった。児童の評価は「1」が75%と高く、保護者の求める姿や教職員の認識している姿と児童の意識とは違いがあると考えられる。本校の児童は、基本的なルールや学校のきまりをしっかり守ろうとする児童がほとんどである。数値においても肯定的な評価が高い。しかしながら、時折自分の気持ちを優先してしまう部分もあり、ルールを守って生活することの必要性を指導していく。

No.	項目	R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
15	教職員	児童は、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.24	3.23	3.35	24%	76%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.48	3.41	3.52	53%	42%	3%	1%
	児童	学校や学級で好ましい友人関係を築いている。	3.78	3.67	3.70	81%	16%	3%	0%



教職員の平均評価は0.01ポイント下がっている。保護者と児童の平均評価は上がっているが、保護者の項目「3」「4」の合計が4%であり、家庭で友達関係を心配されていることを重く受け止めたい。今後も本校の教育相談体制を充実させるとともに、よりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいかということを知るような取り組みを行っていききたい。項目「1」「2」においては、教職員・保護者・児童すべてが95%を越えていることから、多くの児童がよい友人関係を保ちながら生活できていると思われる。

No.	項目	R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合				
					①	②	③	④	
16	教職員	児童は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.29	3.29	3.46	29%	71%	0%	0%
	保護者	お子さんは、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.42	3.31	3.46	58%	28%	11%	3%
	児童	外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.44	3.47	3.47	58%	30%	8%	3%



昨年度と比べて、教職員の平均評価が0.04ポイント、保護者の平均評価は0.11ポイント向上した。制約がある中ではあるが、外遊びや体育科授業ができるようになったためと思われる。しかし、児童の平均評価が下がっていたり、項目「3」「4」において保護者の合計が14%、児童の合計が11%になっているのは部活が休止になったり、陸上大会等が中止されたため、身体接触のない運動という制約の中で活動することが多かったりしたためと思われる。今後も制約しながらの取り組みになるが、児童の体力向上を目指し、運動に親しむ児童が増えるように手立てを工夫し取り組んでいきたい。

学校評議員(学校関係者)の意見とまとめ

- ・コロナ禍も2年目となり、学校生活全般において、楽しく工夫された結果が見られました。最近はゴム鉄砲を作って「鬼退治」!
- ・保護者として、児童として、それぞれが求めているものは何かその一端に触れることができたように思います。今は難しい状況であることを大人は理解しているのですが、それでも児童の多くは人(先生や友だち)とできるだけ多くの時間を過ごし、たくさん話をしたい。そんな思いを感じ取りました。体験学習の必要性を強く感じます。
- ・学校に来ることは楽しく、授業にも熱心に取り組める。学校行事も楽しく参加している。しかし、家庭学習(一人になると)には…
- ・平日頃から教職員の気持ちを子どもたちに伝えていただければ何よりです。
- ・コロナ禍で感染拡大防止の制限がある中、学校行事の中止もあることでありますが、それでも児童に少しでも思い出を作ってもらえるよう、内容を変更、工夫された先生方の努力が「学校だより」等で十分伝わっています。
- ・子ども達と行き交うとき、必ず気持ちの良い挨拶、返事が返ってきます。中には会釈だけの子どももいますが、ほんの少数です。学校の生徒指導の成果だと思えます。来校者に対しては丁寧で親切すぎる位で、恐縮致しております。
- ・11月の「メロディーフェスティバル」は感激いたしました。保護者や大勢の方々が鑑賞できなかったのが残念でした。
- ・コロナウイルス感染拡大のため、学校へ行く機会が少なく、とても残念でした。感染対策をしながらの授業や行事、がんばっていたらと思います。
- ・感染症対策に努めながら学習参観や運動会、音楽発表会など、工夫されて実施され、直接参観できない保護者のためにホームページで学校の教育活動の様子を理解していただけるような心がけは素晴らしいと思います。
- ・本年度はタブレットが導入され、タブレットを授業や家庭学習で活用できるようになり、また、昨年度できなかった体験学習を通じて自然や人々との触れ合う機会を設けられたことはよかったと思います。